

女性アスリートに携わる指導者への支援に関する調査

(スタッフ用)

本調査は、文部科学省の委託事業『女性アスリートの育成・支援プロジェクト「女性アスリートの戦略的強化に向けた調査研究」』の一環として、国立スポーツ科学センター(以下、「JISS」)が実施しているものです。本調査は女性アスリートに携わる指導者が求めているサポート内容を把握するために実施しています。女性アスリート強化選手に携わるJOC強化スタッフ、及びJOC加盟競技団体の強化スタッフの方を対象としています。本調査で得られた情報はすべて数値化されますので、個人が特定されるようなことは一切ありません。この調査用紙は、集計後にJISSの責任において破棄をいたします。自由意思に基づき、お答えできる範囲で結構ですので、ご協力をお願いします。

◀連絡先▶ 国立スポーツ科学センター(JISS)
メディカルセンター 女性アスリート調査研究
(担当：土肥、村上)
〒115-0056 東京都北区西が丘3-15-1
TEL：03-5963-0211(内線2258)
FAX：03-5963-0212
E-mail：josei.chosa@jpnssport.go.jp

※回答の所要時間は、約20分程度です。

※ご回答されたアンケートは、封筒(切手は不要)に入れ、1週間以内に下記へお送りください。

※複数項目で所属されている場合は、最もスタッフ活動年数の長い競技種目についてお答えください。

※以下の各項目の空欄を埋め、また該当する箇所にチェック印を入れてください。

1.競技名:

- | | | |
|--|---|-------------------------------------|
| ☐ 1.陸上競技 | ☐ 26.バドミントン | ☐ 51.ソフトテニス |
| ☐ 2.水泳(競泳) | ☐ 27.ライフル射撃 | ☐ 52.軟式野球 |
| ☐ 3.水泳(飛込) | ☐ 28.近代五種 | ☐ 53.相撲 |
| ☐ 4.水泳(水球) | ☐ 29.ラグビーフットボール | ☐ 54.ソフトボール |
| ☐ 5.水泳(シンクロ/水泳) | ☐ 30.カヌー | ☐ 55.弓道 |
| ☐ 6.サッカー | ☐ 31.アーチェリー | ☐ 56.剣道 |
| ☐ 7.テニス | ☐ 32.クレール射撃 | ☐ 57.山岳 |
| ☐ 8.ボート | ☐ 33.トライアスロン | ☐ 58.空手 |
| ☐ 9.ホッケー | ☐ 34.ゴルフ | ☐ 59.銃剣道 |
| ☐ 10.ボクシング | ☐ 35.テコンドー | ☐ 60.なぎなた |
| ☐ 11.バレーボール(バレー) | ☐ 36.スキー(アルペン) | ☐ 61.ボウリング |
| ☐ 12.バレーボール(ビーチバレー) | ☐ 37.スキー(リフト) | ☐ 62.野球 |
| ☐ 13.体操(体操) | ☐ 38.スキー(ジャンプ) | ☐ 63.武術太極拳 |
| ☐ 14.体操(新体操) | ☐ 39.スキー(リフト/ジャンプ) | ☐ 64.スカッシュ |
| ☐ 15.体操(トランポリン) | ☐ 40.スキー(リフト) | ☐ 65.ビリヤード |
| ☐ 16.バスケットボール | ☐ 41.スキー(リフト) | ☐ 66.ボクシング |
| ☐ 17.レスリング | ☐ 42.スケート(スピード) | ☐ 67.ダンススポーツ |
| ☐ 18.セーリング | ☐ 43.スケート(フィギュア) | ☐ 68.その他 |
| ☐ 19.ラケットソフトテニス | ☐ 44.スケート(フィギュア) | |
| ☐ 20.ハンドボール | ☐ 45.アイスホッケー | |
| ☐ 21.自転車 | ☐ 46.ボブスレー | |
| ☐ 22.卓球 | ☐ 47.スケルトン | |
| ☐ 23.馬術 | ☐ 48.リュージュ | |
| ☐ 24.フェンシング | ☐ 49.カーリング | |
| ☐ 25.柔道 | ☐ 50.バイアスロン | |

1-35:夏季競技 68.0%(215)
36-50:冬季競技 17.4%(55)
51-67:非オリンピック競技 14.6%(46)
N=316

1

2.年齢: N=312	☐ 1. -19歳 0.3%(1)	☐ 2. 20-29歳 6.1%(19)	☐ 3. 30-39歳 26.6%(83)
	☐ 4. 40-49歳 34.9%(109)	☐ 5. 50-59歳 20.5%(64)	☐ 6. 60歳- 11.5%(36)
3.強化スタッフとしての経験年数: N=276 平均 8.07±7.00年	☐ 1. 1-1年未満 2.2%(6)	☐ 2. 1-2年未満 9.4%(26)	☐ 3. 2-3年未満 12.3%(34)
	☐ 4. 3-4年未満 9.8%(27)	☐ 5. 4-5年未満 10.9%(30)	☐ 6. 5-10年未満 21.7%(60)
	☐ 7. 10-15年未満 15.9%(44)	☐ 8. 15-20年未満 1.6%(28)	☐ 9. 20-25年未満 3.3%(9)
	☐ 10. 25-30年未満 2.9%(8)	☐ 11. 30年以上 1.4%(4)	
4.性別: N=314	☐ 1.男性 53.5%(168)	☐ 2.女性 46.5%(146)	
5.役別: N=311	☐ 1.コーチングスタッフ (232)	※複数回答あり	
	☐ 2.マネジメントスタッフ (45)	☐ 3.情報・戦略スタッフ (16)	
		☐ 4.医・科学スタッフ (43)	
6.配偶者の有無: N=314	☐ 1.既婚 69.1%(217)	※既婚の場合、同居・別居等に記入してください	N=209
	☐ 2.未婚 30.9%(97)	⇒ ☐ 同居 92.8%(194) ☐ 別居 6.2%(13) ☐ その他 1.0%(2)	
7.子どもの有無: N=313	☐ 1.あり 56.2%(176)	☐ 2.なし 43.8%(137)	
	☐ 子どもの人数 N=172 平均 2.03±0.79人	1人: 26.2%(45) 2人: 47.7%(82) 3人: 23.8%(41) 4人以上: 2.3%(4)	
☐ 子どもの年齢	※子どもが複数名の場合、全員の年齢をご記入ください		
	1人目 (N=166)	2人目 (N=119)	3人目 (N=41)
-5歳未満	13.9% (23)	10.9% (13)	24.4% (10)
5-10歳未満	15.7% (26)	23.5% (28)	19.5% (8)
10-15歳未満	12.7% (21)	16.8% (20)	19.5% (8)
15-20歳未満	19.3% (32)	14.3% (17)	7.3% (3)
20-25歳未満	13.9% (23)	10.1% (12)	4.9% (2)
25-30歳未満	6.6% (11)	5.0% (6)	12.2% (5)
30歳以上	18.1% (30)	19.3% (23)	12.2% (5)
平均年齢	17.46±11.42	16.50±11.08	14.54±11.88
8.両親との同居近居: N=310	☐ 1.同居 17.4%(54)	☐ 2.別居(電車や自家用車等での移動を含め、30分未満) 23.5%(73)	☐ 3.別居(電車や自家用車等での移動を含め、30分以上) 49.7%(154)
	☐ 4.その他 9.4%(29)		
9.強化スタッフ以外の職業: N=309	☐ 1.学生・大学院生 0.3%(1)	☐ 5.パート・アルバイト 2.3%(7)	☐ 6.自営業 12.6%(39)
	☐ 2.正社員 55.0%(170)	☐ 7.なし 13.6%(42)	☐ 8.その他 1.9%(6)
	☐ 3.契約社員・嘱託 14.2%(44)		
	☐ 4.派遣社員 -%()		

以下の質問では、あなたの指導環境における支援についてお尋ねしています。本調査では、競技団体、所属企業、JISS、家族等を含め、全ての関係者からの支援と考えてご回答ください。

2

女性アスリートに携わる指導者へのサポート内容についてお伺いします

あなたが指導を継続する上で、現在困難であることや直面している課題についてお聞きします。あなたの現在の現状を踏まえてお答えください。以下の質問1～質問7について、該当する箇所に○をつけてください。また、「その他」に該当する場合は番号を○で囲み、()内に具体的な内容をご記入ください。

質問1、「身体面のケア」について

(1)あなたは体調不良や病気など「身体的な問題」を抱えることがある N=312 平均 1.92±1.07

常にある	しばしばある	時々ある	たまにある	ほとんどない
2.2% (7)	7.4% (23)	17.6% (55)	25.3% (79)	47.4% (148)

(2)あなたが「身体的な問題」を抱えた場合、下記の項目について、今の指導環境ではどの程度支援がなされると思いますか。

	常に支援される	しばしば支援される	時々支援される	たまに支援される	ほとんど支援されない
1.病気や体調不良などに対する治療 N=293 平均 2.72±1.65	23.9% (70)	14.3% (42)	10.9% (32)	11.6% (34)	39.2% (115)
2.怪我や病気の予防と対策 N=293 平均 2.65±1.53	18.4% (54)	14.3% (42)	16.4% (48)	15.0% (44)	35.8% (105)
3.食事・栄養指導 N=290 平均 2.39±1.48	14.1% (41)	12.8% (37)	13.8% (40)	16.9% (49)	42.4% (123)
4.睡眠障害への対処 N=289 平均 2.07±1.48	12.8% (37)	8.7% (25)	9.7% (28)	10.0% (29)	58.8% (170)
5.その他() N=32 平均 2.06±1.66	18.8% (6)	9.4% (3)	-% (-)	3.1% (1)	68.8% (22)

質問2、「心理面のケア」について

(1)あなたは悩みやストレスなど「心理的な問題」を抱えることがありますか。 N=311 平均 2.54±1.18

常にある	しばしばある	時々ある	たまにある	ほとんどない
7.4% (23)	14.5% (45)	23.2% (72)	34.7% (108)	20.3% (63)

(2)あなたが「心理的な問題」を抱えた場合、下記の項目について、今の指導環境ではどの程度支援がなされると思いますか。

	常に支援される	しばしば支援される	時々支援される	たまに支援される	ほとんど支援されない
1.気分転換やリラックスできる場の提供 N=297 平均 2.25±1.34	8.4% (25)	11.8% (35)	19.5% (58)	17.2% (51)	43.1% (128)
2.指導に集中できる環境整備 N=298 平均 2.62±1.44	12.8% (38)	18.8% (56)	20.5% (61)	13.8% (41)	34.2% (102)
3.心理面の強化、モチベーションの維持 N=295 平均 2.36±1.38	11.2% (33)	11.2% (33)	19.3% (57)	19.0% (56)	39.3% (116)
4.心理面での問題に対応する相談窓口 N=296 平均 2.04±1.35	10.1% (30)	5.1% (15)	16.6% (49)	14.9% (44)	53.4% (158)
5.支援ネットワークづくり (コーチ同士の、競技団体、ドクターなどとの連携) N=295 平均 2.59±1.35	10.5% (31)	18.0% (53)	22.0% (65)	19.3% (57)	30.2% (89)
6.その他() N=22 平均 1.82±1.27	9.1% (2)	-% (-)	18.2% (4)	9.1% (2)	63.6% (14)

3

質問3、「人的サポート資源の充実」について

(1)あなたは指導者やスタッフなど人的サポート資源が充実していないと思うことがありますか

常にある	しばしばある	時々ある	たまにある	ほとんどない
20.1% (62)	19.4% (60)	19.4% (60)	23.0% (71)	18.1% (56)

(2)あなたが「人的サポート資源が充実していないという問題」を抱えた場合、下記の項目について、今の指導環境ではどの程度支援がなされると思いますか。

	常に支援される	しばしば支援される	時々支援される	たまに支援される	ほとんど支援されない
1.他の指導者、スタッフなどの資質向上 N=299 平均 2.64±1.22	9.0% (27)	15.1% (45)	27.8% (83)	27.1% (81)	21.1% (63)
2.高度なコーチングスキルのある指導者の育成 N=299 平均 2.53±1.24	7.7% (23)	14.7% (44)	27.1% (81)	23.4% (70)	27.1% (81)
3.女性指導者、女性スタッフなどの増加 N=298 平均 2.35±1.27	8.1% (24)	12.1% (36)	19.8% (59)	26.5% (79)	33.6% (100)
4.競技団体における女性役員の配置 N=296 平均 2.46±1.28	9.8% (29)	11.8% (35)	20.9% (62)	29.1% (86)	28.4% (84)
5.国際大会で活躍する女性審判員の育成 N=293 平均 2.40±1.33	8.5% (25)	15.0% (44)	19.5% (57)	21.5% (63)	35.5% (104)
6.ハラスメントへの対応 N=292 平均 2.67±1.41	14.0% (41)	15.8% (46)	24.0% (70)	15.8% (46)	30.5% (89)
7.その他() N=13 平均 1.62±1.15	7.7% (1)	-% (-)	7.7% (1)	14.6% (2)	69.2% (9)

質問4、「的確な情報提供」について

(1)あなたは指導に関する「情報提供が不十分」であると思うことがありますか。 N=302 平均 2.71±1.18

常にある	しばしばある	時々ある	たまにある	ほとんどない
9.9% (30)	12.9% (39)	32.1% (97)	28.5% (86)	16.6% (50)

(2)あなたが「情報提供が不十分であるという問題」を抱えた場合、下記の項目について、今の指導環境ではどの程度支援がなされると思いますか。

	常に支援される	しばしば支援される	時々支援される	たまに支援される	ほとんど支援されない
1.医学的サポートに関する情報提供 N=300 平均 2.92±1.22	12.7% (38)	19.0% (57)	29.7% (89)	25.3% (76)	13.3% (40)
2.トレーニング方法に関する情報提供 N=300 平均 3.01±1.19	11.7% (35)	23.3% (70)	31.3% (94)	21.3% (64)	12.3% (37)
3.映像分析やIT戦略に関する情報提供 N=297 平均 2.75±1.27	11.4% (34)	16.5% (49)	28.6% (85)	22.9% (68)	20.5% (61)
4.栄養サポートに関する情報提供 N=300 平均 2.87±1.27	12.0% (36)	20.0% (60)	29.7% (89)	19.3% (58)	19.0% (57)
5.心理サポートに関する情報提供 N=299 平均 2.39±1.23	7.0% (21)	11.7% (35)	26.1% (78)	24.1% (72)	31.1% (93)
6.アンチドーピングに関する情報提供 N=299 平均 3.35±1.20	22.1% (66)	22.4% (67)	30.8% (92)	18.1% (54)	6.7% (20)
7.国内外の女性スポーツに関する情報提供 N=300 平均 2.18±1.16	7.7% (14)	7.7% (23)	26.7% (80)	23.3% (70)	37.7% (113)
8.メディアトレーニングに対する情報提供 N=299 平均 2.30±1.19	5.7% (17)	10.0% (30)	25.8% (77)	25.8% (77)	32.8% (98)
9.リスクマネジメントに関する情報提供(事故対応、保険制度など) N=299 平均 2.29±1.22	6.4% (19)	10.4% (31)	24.1% (72)	24.7% (74)	34.4% (103)
10.その他() N=10 平均 1.70±0.78	-% (-)	-% (-)	20.0% (2)	30.0% (3)	50.5% (5)

4

質問5、「指導環境の整備」について

(1)あなたは「指導環境が整備されていない」と思うことがありますか。 N=303 平均 2.87±1.32

常にある	しばしばある	時々ある	たまにある	ほとんどない
14.2% (43)	19.8% (60)	25.1% (76)	21.1% (64)	19.8% (60)

(2)あなたが「指導環境が整備されていないという問題」を抱えた場合、下記の項目について、今の指導環境ではどの程度支援がなされると思いますか。

	常に支援される	しばしば支援される	時々支援される	たまに支援される	ほとんど支援されない
1.活動の拠点となる練習・トレーニング施設の充実 N=301 平均 3.09±1.45	24.6% (74)	16.3% (49)	21.9% (66)	17.9% (54)	19.3% (58)
2.国際大会や海外合宿への参加機会の増加 N=300 平均 3.09±1.32	18.0% (54)	24.0% (72)	21.3% (64)	22.3% (67)	14.3% (43)
3.より高度なコーチングスキル習得の機会 N=300 平均 2.57±1.24	9.0% (27)	13.3% (40)	27.7% (83)	25.3% (76)	24.7% (74)
4.スポーツ団体における資格制度の充実 N=299 平均 2.86±1.24	11.7% (35)	18.7% (56)	29.4% (88)	23.7% (71)	16.4% (49)
5.グローバルで活躍するためのコーチングプログラムへの参加機会(言語スキル獲得、社会性など) N=299 平均 2.10±1.17	6.0% (18)	5.7% (17)	20.4% (61)	28.1% (84)	39.8% (119)
6.その他() N=12 平均 1.58±1.19	8.3% (1)	-% (-)	8.3% (1)	8.3% (1)	75.0% (9)

質問6、「金銭的な支援」について

(1)あなたは「金銭面で問題」があると思うことがありますか。 N=305 平均 3.11±1.42

常にある	しばしばある	時々ある	たまにある	ほとんどない
24.3% (74)	17.0% (52)	21.3% (65)	20.0% (61)	17.4% (53)

(2)あなたが「金銭面で問題」を抱えた場合、下記の項目について、今の指導環境ではどの程度支援がなされると思いますか。

	常に支援される	しばしば支援される	時々支援される	たまに支援される	ほとんど支援されない
1.合宿・遠征費への資金援助 N=307 平均 3.59±1.36	36.5% (112)	20.5% (63)	18.2% (56)	15.3% (47)	9.4% (29)
2.スポーツ用品や用具などの提供 N=306 平均 2.82±1.50	21.2% (65)	13.7% (42)	18.0% (55)	19.6% (60)	27.5% (84)
3.就職支援、雇用の促進。 N=303 平均 1.85±1.21	6.3% (19)	5.6% (17)	12.2% (37)	18.5% (56)	57.4% (174)
4.企業とのスポンサー契約 N=303 平均 1.89±1.28	8.6% (26)	4.6% (14)	11.2% (34)	18.8% (57)	56.8% (172)
5.コンサルタントを行う支援団体の紹介(法務、税務などのマネジメントなど) N=300 平均 1.48±0.95	3.0% (9)	1.7% (5)	9.3% (28)	12.3% (37)	73.7% (221)
6.その他() N=12 平均 1.83±1.34	8.3% (1)	8.3% (1)	8.3% (1)	8.3% (1)	66.7% (8)

5

質問7、「キャリアプランの支援」について

(1)あなたは「キャリアプランに不安」があると思うことがありますか。 N=297 平均 2.75±1.37

常にある	しばしばある	時々ある	たまにある	ほとんどない
15.5% (46)	14.1% (42)	23.9% (71)	22.6% (67)	23.9% (71)

(2)あなたが「キャリアプランに不安があるという問題」を抱えた場合、下記の項目について、今の指導環境ではどの程度支援がなされると思いますか。

	常に支援される	しばしば支援される	時々支援される	たまに支援される	ほとんど支援されない
1.キャリア情報が提供されるセミナーや講習会などへの参加機会 N=287 平均 2.03±1.09	2.8% (8)	8.0% (23)	20.2% (58)	27.5% (79)	41.5% (119)
2.進学や海外留学などへの支援制度 N=285 平均 1.70±1.04	2.5% (7)	5.3% (15)	13.0% (37)	18.2% (52)	61.1% (174)
3.次のキャリアへの対応窓口(現在の強化スタッフから選んだ後のキャリアを相談するなど) N=285 平均 1.52±0.97	2.5% (7)	3.5% (10)	9.1% (26)	13.0% (37)	71.9% (205)
4.仕事や学業との両立 N=279 平均 1.95±1.19	5.4% (15)	6.8% (19)	16.1% (45)	20.4% (57)	51.3% (143)
5.職場拡大を視野に入れた就職に関する情報 N=282 平均 1.57±0.99	3.5% (10)	1.8% (5)	9.9% (28)	17.4% (49)	67.4% (190)
6.失業保険制度の充実 N=282 平均 1.70±1.27	8.9% (25)	2.8% (8)	8.5% (24)	8.5% (24)	71.3% (201)
7.その他() N=11 平均 1.73±1.35	9.1% (1)	9.1% (1)	-% (-)	9.1% (1)	72.7% (8)

質問8、「競技スポーツに対する社会的評価の向上」について

(1)あなたは「競技スポーツに対する社会的評価が低い」と思うことがありますか。 N=304 平均 3.16±1.23

常にある	しばしばある	時々ある	たまにある	ほとんどない
17.1% (52)	24.0% (73)	26.3% (80)	22.7% (69)	9.9% (30)

(2)あなたが「競技スポーツに対する社会的評価が低い」という問題を抱えた場合、下記の項目について、今の指導環境ではどの程度支援がなされると思いますか。

	常に支援される	しばしば支援される	時々支援される	たまに支援される	ほとんど支援されない
1.専門種目への認知度の向上 N=296 平均 2.58±1.21	8.1% (24)	15.9% (47)	23.3% (69)	31.8% (94)	20.9% (62)
2.指導に対する専心性(専念していること)への評価 向上 N=295 平均 2.36±1.18	5.4% (16)	12.9% (38)	22.0% (65)	31.2% (92)	28.5% (84)
3.情報メディアへの効果的なキャッチペーン N=294 平均 2.12±1.14	4.1% (12)	9.5% (28)	18.4% (54)	30.6% (90)	37.4% (110)
4.サポーターや競技ファンの増加 N=295 平均 2.16±1.14	4.4% (13)	9.5% (28)	19.0% (56)	31.5% (93)	35.6% (105)
5.社会貢献活動の促進 N=295 平均 2.24±1.18	5.4% (16)	10.5% (31)	20.3% (60)	30.2% (89)	33.6% (99)
6.功績や実績を讃える表彰制度の充実 N=297 平均 2.47±1.18	7.1% (21)	12.1% (36)	25.6% (76)	31.3% (93)	23.9% (71)
7.その他() N=9 平均 1.67±1.25	11.1% (1)	-% (-)	-% (-)	22.2% (2)	66.7% (6)

6

質問9、「家庭生活・育児との両立」について

(1)あなたは「家庭生活・育児との両立に悩んでいる」と思うことがありますか。 N=297 平均 2.35±1.37

常にある	しばしばある	時々ある	たまにある	ほとんどない
11.1% (33)	10.8% (32)	18.2% (54)	21.5% (64)	38.4% (114)

(2)あなたが「家庭生活・育児との両立に悩んでいるという問題」を抱えた場合、下記の項目について、今の指導環境ではどの程度支援がなされると思いますか。

	常に支援される	しばしば支援される	時々支援される	たまに支援される	ほとんど支援されない
1.家事の負担軽減(炊事、洗濯、掃除、買い物など) N=271 平均 2.30±1.57	15.9% (43)	12.9% (35)	9.2% (25)	9.6% (26)	52.4% (142)
2.競技団体における産休・育休制度の充実 N=265 平均 1.82±1.29	8.7% (23)	4.5% (12)	10.6% (28)	12.5% (33)	63.8% (169)
3.子どもの病気看護休暇制度の充実 N=268 平均 1.83±1.30	7.8% (21)	6.7% (18)	9.7% (26)	12.3% (33)	63.4% (170)
4.育児相談に関する窓口の紹介 N=262 平均 1.60±1.05	3.4% (9)	4.6% (12)	9.2% (24)	14.5% (38)	68.3% (179)
5.体験者同士の情報を共有する場の提供 N=265 平均 1.71±1.13	4.9% (13)	3.8% (10)	12.5% (33)	15.1% (40)	63.8% (169)
6.大会・遠征でのベビーシッター制度の充実 N=266 平均 1.35±0.84	1.9% (5)	2.3% (6)	5.6% (15)	9.0% (24)	81.2% (216)
7.大会での託児所、チャイルドルームの設置 N=266 平均 1.32±0.77	1.5% (4)	1.1% (3)	6.0% (16)	10.5% (28)	80.8% (215)
8.大会でのおむつ交換、授乳室の設置 N=263 平均 1.38±0.79	1.5% (4)	0.8% (2)	8.4% (22)	12.9% (34)	76.4% (201)
9.育児サポートに関する経済的な援助 N=266 平均 1.37±0.84	1.9% (5)	1.5% (4)	7.5% (20)	9.8% (26)	79.3% (211)
10.親などへの介護休暇制度の充実 N=267 平均 1.51±1.05	4.5% (12)	3.4% (9)	6.0% (16)	10.9% (29)	75.3% (201)
11.その他() N=15 平均 1.33±1.01	6.7% (1)	-% (-)	-% (-)	6.7% (1)	86.7% (13)

質問10、その他

これまでにご回答いただいた質問1～質問9の項目以外に、現在あなたが抱える課題及び必要とするサポート内容があれば、下記の空欄にできる限り具体的に記述ください。

- ✓ 現行、実施されているサポート事項を、更に周知させる為の案内方法が必要と思う。まだまだ、知らない者が多いと思う。
- ✓ N Fに専従の強化関連の事務局員を配置すること（2020年に向けて事務局員設置の金銭サポートが行える事業があるため、それを活用する方向で調整中）。優秀な人材を確保するには金銭面での十分なサポートが必要。人手不足により現場の強化スタッフ（監督・コーチ等）が書類作成や会議出席を行うことが多くなっている。現場の強化スタッフが、日々の強化活動に専念できる環境を維持するため、強化専任事務局員の配置が必要と感じる。
- ✓ N F団体の体質に問題があるかと思う。上下関係、派閥等で正しい正しくないが決まっている。しかし、今現在多少の改善も感じる。2020年に向け、ベストな状態でベストを尽くすなくてはならない。第三者の方たちと交えて判別が出せる団体になればと日々強く思っている。

- ✓ 一番感じることは競技がアマチュアスポーツであり、社会人になるまでは学校教育の中にある。コーチとしての評価は低く、ボランティアコーチである。それに加え連盟のコーチスタッフ全員がほぼボランティアだと感じている。自分の選手が強化に入っていればまだ少しは違うが、この組織の作り方にとても疑問を感じる。今後のことを考えると、女性スタッフの後継者がとて少ない。男性社会の組織の中で女性スタッフとしてやっていくのはとても大変である。次の女性スタッフが苦勞しないための道を作りたいとは思いますが、後継者がいない意味もなくなる。課題①女性スタッフ（コーチ）の育成。

- ✓ 競技団体のメンバー内に当該競技のコアな経験者や審判のエキスパートが非常に少なく、強化に必要な競技特性の理解と当該競技に特化した強化策の知識を持つ人物が極少数のため、何かを進めるのに対立が起ること多い。まずは理解を得る段階から精神的負担が大きく、困難を伴うため遠回りの強化に甘んじている。海外の競技団体に比べ国内は派遣事業の制約が多く、自由度が低いので、時節と選手のコンディションに合わせたフレキシブルな判断や運用ができず、小さなチャンスを逃すことが多い。

- ✓ 競技団体と現場スタッフのコミュニケーションが必要と感じる（団体→現場の一方ではなく団体⇄現場の双方が話を出来る環境・状況が欲しい）・競技団体の情報の開示（現場への）のスムーズさを求む。

- ✓ 昨年からの世界ランキング性に世界連盟がルールを変えた為、世界のオープン大会の参加が増え、マンパワー不足の事と考えています。今後はカバナスにそった方向で進めていきたい。

- ✓ マイナースポーツの社会的認知度の低さから、様々な支援を受ける機会が少ない。教育公務員で専任は専任で、経済的な負担も大きい。合宿等積極的に参加したいが、遠方のため、旅費等の関係でN Fに迷惑が掛かると思い自粛してしまう。その予算があれば選手に還元した方がいいと思う。まずは社会的認知度の向上が必要ではないだろうか。

- ✓ 遠征や強化活動の際に自分自身の仕事を休まなくてはならない場合のサポートや金銭的補償、または遠征や強化活動を行うために日常から固定の仕事を出ないにしていることに対しての金銭的援助。

- ✓ 子供がいないので出産育児で悩んだことはない。しかし、現在は親の介護で、海外遠征等に帯同の場合、家が不安である。

など

質問11.下記の項目の中で、スタッフ活動を継続していく上で、あなたが必要と考えるサポート内容はどれですか。あなたが必要と思うサポートから順に上位3つを選び、質問1～10までの数字を記入して下さい。

N=301	
※1位3点、2位2点、3位1点として点数化し、全ての項目の総得点を算出し	
質問1. 身体面でのケア	122点
質問2. 心理面でのケア	96点
質問3. 人的サポート資源の充実	226点
質問4. 的確な情報の提供	145点
質問5. スタッフ環境の整備	270点
質問6. 金銭的な支援	476点
質問7. キャリアプランの支援	108点
質問8. 競技スポーツに対する社会的評価の向上	204点
質問9. 家庭生活・育児との両立	149点
質問10. その他()	10点

1位: 質問()	2位: 質問()	3位: 質問()
-----------	-----------	-----------

8

7

質問 1 2. サポート体制の利用度、満足度について

(1) 女性アスリートに携わる指導者に対して、スタッフ活動を支援するために様々なサポート活動が取組まれています。あなたは、本調査においてこれまで回答したようなサポート体制を、どの程度利用されていますか。

常に利用している	しばしば利用している	時々利用している	たまに利用している	全く利用していない
1.4% (4)	2.1% (6)	5.8% (17)	12.4% (36)	78.4% (228)

(2) 上記で利用していると回答した方は、具体的にどのようなサポートを利用されているのか、簡潔書きで簡潔にご記入ください。

● 身体 ● - 職場の医療補助/福利厚生制度 - ドクターによるメディカルサポート - 食事、栄養サポート - JISSでの身体ケア等・トレーニング論(ケア等) - トレーナーとの連携による選手のコンディショニングサポート - チームドクターによる、女性ジュニアアスリートの身体支援	● 情報 ● - 各種講習会等での情報提供(女性アスリート指導者講習、ナショナルコーチングアカデミー、JOC 女性スポーツフォーラム等) - JOC 指導者海外派遣制度 - 映像分析による情報提供 - カバナンスの指導 - トレーナーによるトレーニングメニュー享受 - 国際試合に派遣された審判員からの情報共有 - 女性スポーツメディアスタッフネットワーク(入会、セミナー参加)	● 金銭 ● - 合宿・遠征費の援助 - 用具、用品の援助 - NFからの資金援助(大会参加経費、コーチ謝金、帯同サポート時) - 女性アスリートに対する助成金受給 - 糧目に対する支援事業
● 心理 ● - 心理学的サポート方法の勉強 - 気分転換の場の提供 - チームドクターによる女性ジュニアアスリートへのメンタルの成長支援	● 環境 ● - 活動拠点・トレーニング施設を利用 - 強化合宿の参加 - 海外の指導方法やレベル等を知る機会を多く持てる - 強化遠征へのマネージャー帯同 - 女性選手の海外遠征時、女性スタッフの同行	● キャリア ● - キャリアプランの支援 - 所属団体に雇用されている
● 人的 ● 女性スタッフ・役員の増加		など

(3) あなたはこれまで回答したような指導者へのサポート体制に対して、総じてどの程度満足されていますか。

非常に満足している	満足している	少し満足している	少し不満である	不満である	非常に不満である
1.3% (3)	14.5% (34)	21.4% (50)	28.6% (67)	25.6% (60)	8.5% (20)

(4) 満足、ないしは不満とされた理由を下欄にご記入ください。

(満足)	✓ 合宿や遠征では、ほとんどサポート体制が整備されている ✓ 情報提供の機会が多いので、選択が出来る ✓ 他のスタッフとのコミュニケーションも良く、満足している ✓ 特に問題なく指導ができていてので満足	など
(不満)	✓ ビデオ録り、コンピュータ解析など、充実した施設をもっと使用させて欲しい ✓ 正規の仕事の合間に参加するため、常にスタッフが不足している ✓ サポートがない ✓ サポートがあることを知らない ✓ 利用する時間・機会がない	など

9

年収、指導に関わる費用や自己負担額など、金銭面に関してお問い合わせ

質問 1 3. あなたの年収(額面)はおおよそどれくらいですか。スポンサーなどによる補てん(足りないお金)を補助することを除き、差支えがなければお答えください。スポンサー費、助成金、競技団体による強化費、所属企業からの活動支援費なども補てんに含みます。

N=269

□ 1. 収入なし	3.3%(9)	□ 8. 600 万～700 万円未満	10.8%(29)
□ 2. ～100 万円未満	5.6%(15)	□ 9. 700 万～800 万円未満	7.4%(20)
□ 3. 100 万～200 万円未満	6.3%(17)	□ 10. 800 万～900 万円未満	5.2%(14)
□ 4. 200 万～300 万円未満	9.3%(25)	□ 11. 900 万～1000 万円未満	4.5%(12)
□ 5. 300 万～400 万円未満	8.9%(24)	□ 12. 1000 万円以上	8.2%(22)
□ 6. 400 万～500 万円未満	11.2%(30)	□ 13. わからない/答えたくない	9.7%(26)
□ 7. 500 万～600 万円未満	9.7%(26)		

質問 1 4. 年間を通じた指導に関わる費用、スポンサーなどによる補てん、1 年分の自己負担額の内訳をご記入ください。スポンサー及び所属団体等による補てんについては「あり/なし」のどちらかに○をつけてください。金額はおおよその値段を 1 万円単位としてください。

<例>	指導に関わる費用 (万円)	スポンサーなど による補てん	補てん額 (万円)	自己負担額 (万円)
1. 用品・用具費	5 0	あり / なし	3 0	2 0
2. 合宿・遠征費	1 5 0	あり / なし	1 2 5	2 5
3. その他()		あり / なし		
4. その他()		あり / なし		
5. その他()		あり / なし		
合 計	2 0 0		1 5 5	4 5

	指導に関わる費用 (万円)	スポンサーなど による補てん	補てん額 (万円)	自己負担 (万円)
1. 用品・用具費	N 119	196	91	122
10 万円未満	31.1%(37)		50.5%(46)	57.4%(70)
10- 20 万円未満	25.2%(30)		17.6%(16)	21.3%(26)
20- 30 万円未満	10.1%(12)		11.0%(10)	8.2%(10)
30- 40 万円未満	16.0%(19)		8.8%(8)	6.6%(8)
40- 50 万円未満	0.8%(1)	あり:43.4%(85) なし:56.6%(111)	1.1%(1)	0.8%(1)
50-100 万円未満	11.8%(14)		7.7%(7)	4.9%(6)
100-200 万円未満	3.4%(4)		2.2%(2)	~%(-)
200 万円以上	1.7%(2)		1.1%(1)	0.8%(1)
平均 (万円)	25.42±38.03		17.48±29.29	12.16±28.03

10

	指導に関わる費用 (万円)	スポンサーなど による補てん	補てん額 (万円)	自己負担 (万円)
2. 合宿・遠征費	N 135	210	120	138
10 万円未満	12.6%(17)		20.8%(25)	55.8%(77)
10- 20 万円未満	8.9%(12)		10.8%(13)	11.6%(16)
20- 30 万円未満	9.6%(13)		7.5%(9)	12.3%(17)
30- 40 万円未満	5.9%(8)	あり:63.8%(134) なし:36.2%(76)	7.5%(9)	5.8%(8)
40- 50 万円未満	7.4%(10)		5.0%(6)	0.7%(1)
50-100 万円未満	15.6%(21)		18.3%(22)	10.1%(14)
100-200 万円未満	27.4%(37)		21.7%(26)	3.6%(5)
200 万円以上	12.6%(17)		8.3%(10)	~%(-)
平均 (万円)	89.22±118.02		79.60±121.96	16.04±25.56
3. その他()		あり / なし		
4. その他()		あり / なし		
5. その他()		あり / なし		
合 計	N 153		129	159
10 万円未満	12.4%(19)		22.5%(29)	40.3%(64)
10- 20 万円未満	7.0%(11)		7.0%(9)	13.2%(21)
20- 30 万円未満	6.5%(10)		7.0%(9)	11.3%(18)
30- 40 万円未満	7.8%(12)		5.4%(7)	9.4%(15)
40- 50 万円未満	4.6%(7)		7.8%(10)	2.5%(4)
50-100 万円未満	17.6%(27)		15.5%(20)	12.6%(20)
100-200 万円未満	30.1%(46)		23.3%(30)	9.4%(15)
200 万円以上	13.1%(21)		11.6%(15)	1.3%(2)
平均 (万円)	116.78±171.88		92.47±136.56	38.13±108.80

※合計はこちで計算致します

質問 1 5. 現在、あなたがスタッフ活動を続ける上で、資金調達など金銭面での課題、対応策、必要なサポート内容などがあれば、下記の空欄にできるだけ具体的に記入してください。

✓ 指導者が少なく、高度な指導力を持った人材も少ない。長い目で指導者を育てていけるようなサポート体制があると助かり、未来に繋がる。	
✓ 世界レベルの選手を育成しようとするは海外へ出て勉強する必要がある。世界トップの選手はなかなか日本に来てくれないので、出ていくしかない。費用面の支援が大切になる。	
✓ ①カバナンスの運用指導、②コンプライアンス遵守の協会運営強化、③仲裁機構などの協会への監視体制の強化、④細部まで確認作業のできるスタッフ全員のスキルアップ。	
✓ 現状は人件費に使える予算がない。事業を企画運営していくスタッフの増員が必要だが、これは東京オリンピック以降も継続して雇用できる体制としなくてはならない。独自の資金集めが必要。	

✓ 社会貢献の機会を増加させたいので、地域とのマッチングの場が欲しい。	
✓ スポンサーの獲得を自らの努力で獲得に向けた活動をしなければならないと考えているが、仕事とチーム運営への支障も生じるため、なかなか行動に移すことができていない。	
✓ ナショナルチームにおいては、コーチは専任(ここでの専任は雇用関係)が必要である。謝金対応では、責任の所在が明確ではなく、何かあった時の対応が大幅に遅れてしまう。	
✓ 特に急な病気や怪我などによる離脱で保障期間がないので、個人が積み立てられる雇用保険やスポーツ全体で入れる保障や保険があると良い。	
✓ 社会人チーム等は、選手は取るが指導者は取らない企業が多い。ナショナルチームとして年間通じた体制が整っていれば良いが、中途半端なのでローカルチームで時々ナショナル選手を預かる時に困る(金銭が出ない、ボランティアになる)。また、遠征に選手を出してもナショナルチームから試合や指導内容、成果と課題の提示、フィードバックが一切ないので、ローカルコーチは粗末に扱われていると感じてしまうので、国を挙げて改善してほしい。	
✓ 社会的なサポート、安定した金銭的サポートがなく、仕事のかけもち、ボランティアに近い状況で責任を取らなくても良いサポートチーム体制では、世界で戦える選手育成は出来ない。現状周りには優秀な人材はたくさんいるが、皆それぞれが個々の持つ能力を出しきれない状況ではない。	
✓ 海外のコーチも指導するが、女性と男性は形態や心面での違いが大きい。手間をかける必要性は女性の場合に多い。海外のコーチから女性には少数の選手の指導体制を組めないし成果をあげにくいと示唆された。スポーツによる影響が、本人の身体的な特徴もあるが、不妊という状況を生む場合もある。大学生で初潮を迎えていないという相談があり、小中高は男性指導者だった。またアスリートに起きやすい、もしくは、起きることが予想される性同一性障害の問題について、隠れた問題になっているのではないだろうか。	
など	

女性アスリート、及び指導者におけるサポート内容に関する御意見などがございましたら、下欄にご記入ください。今後の調査研究の参考とさせていただきます。

✓ 女性指導者の育成の観点では、独身者の場合は結婚してほしいが、結婚しにくい環境になり易いと思い、推薦しにくい。又、既婚者の場合でも、子育ての支援はもちろんの事、家族の理解、協力も必要であり、家庭側への説明や協力依頼等のフォローも重要と思われる。やはり、何らかの保障が必要と思う。	
✓ 今後、女子の競技人口は増加すると考えられる為、スタッフや役員、審判員の育成は必要になってくる。	
✓ 女性を増やすことは良い事であるが、同時に女性特有のデメリットもある。男女ともにストレスなく理解しあえるセミナーの開催をしてはどうか。	
✓ 女性アスリートに対して女性指導者なら誰でも良いという考え方はやめた方が良い。女性スタッフがいた方が良いが、人にもよるという事に気を付けた方が良い。	
✓ アスリート、指導者にとってキャリアプランは大事なことである。次に進むべき方向性があることは、指導者にとっても安心してその競技に集中する。	
✓ 海外へ積極的に派遣し、「自立」させるプログラムをもっと増やして欲しい。	
✓ 仕事を続けていく上で社会保障や環境がまだ整備されていないのが、現場での実情である。	など

質問は以上です。ご協力いただきまして有難うございました。ご回答されたアンケートは、封筒(切手は不要)に入れ、お手元に届いてから 1 週間以内にご投函ください。

12

目次

1. 女性アスリート支援に関する調査（選手用）

（1）女性アスリート属性

図1-1	女性アスリート属性・競技（夏競技、冬競技、非オリンピック競技）
図1-2	女性アスリート属性・年齢
図1-3	女性アスリート属性・競技年数
図1-4	女性アスリート属性・女性アスリート区分
図1-5	女性アスリート属性・最高成績
図1-6	女性アスリート属性・配偶者の有無
図1-7	女性アスリート属性・配偶者との同居別居
図1-8	女性アスリート属性・子どもの有無
図1-9	女性アスリート属性・子どもの人数
図1-10	女性アスリート属性・子どもの年齢（1人目）
図1-11	女性アスリート属性・子どもの年齢（2人目）
図1-10	女性アスリート属性・子どもの年齢（全員）
図1-11	女性アスリート属性・両親との同居近居
図1-12	女性アスリート属性・職業
図1-13	女性アスリート属性・スポーツ振興基金助成金受給の有無

（2）女性アスリートへのサポート内容

図2-1-1	女性アスリートにおける身体的な問題の有無
図2-1-2	女性アスリートにおける身体面のケアに関する支援度合
図2-2-1	女性アスリートにおける心理的な問題の有無
図2-2-2	女性アスリートにおける心理面のケアに関する支援度合
図2-3-1	女性アスリートにおける人的サポート資源に関する課題の有無
図2-3-2	女性アスリートにおける人的サポート資源の充実にする支援度合
図2-4-1	女性アスリートにおける情報提供に関する課題の有無
図2-4-2	女性アスリートにおける的確な情報提供に関する支援度合
図2-5-1	女性アスリートにおける競技環境の整備に関する課題の有無
図2-5-2	女性アスリートにおける競技環境の整備に関する支援度合
図2-6-1	女性アスリートにおける金銭面での問題の有無
図2-6-2	女性アスリートにおける金銭的な支援度合
図2-7-1	女性アスリートにおけるキャリアプランへの不安の有無
図2-7-2	女性アスリートにおけるキャリアプランに関する支援度合

	（競技施設使用料）
図3-6-2	女性アスリートにおけるスポンサーなどによる補てんの有無 （競技施設使用料）
図3-6-3	女性アスリートにおける補てん額（競技施設使用料）
図3-6-4	女性アスリートにおける1年分の自己負担額（競技施設使用料）
図3-7-1	女性アスリートにおける年間を通じた競技に関わる費用 （コーチなどへの謝金、契約金）
図3-7-2	女性アスリートにおけるスポンサーなどによる補てんの有無 （コーチなどへの謝金、契約金）
図3-7-3	女性アスリートにおける補てん額（コーチなどへの謝金、契約金）
図3-7-4	女性アスリートにおける1年分の自己負担額 （コーチなどへの謝金、契約金）
図3-8-1	女性アスリートにおける年間を通じた競技に関わる費用の合計
図3-8-2	女性アスリートにおける補てん額の合計
図3-8-3	女性アスリートにおける1年分の自己負担額の合計

2. 女性アスリートに携わる指導者への支援に関する調査（スタッフ用）

（1）指導者属性

図4-1	指導者属性・競技（夏競技、冬競技、非オリンピック競技）
図4-2	指導者属性・年齢
図4-3	指導者属性・経験年数
図4-4	指導者属性・性別
図4-5	指導者属性・役割
図4-6	指導者属性・配偶者の有無
図4-7	指導者属性・配偶者との同居別居
図4-8	指導者属性・子どもの有無
図4-9	指導者属性・子どもの人数
図4-10	指導者属性・子どもの年齢（全員）
図4-11	指導者属性・両親との同居近居
図4-12	指導者属性・職業

（2）指導者へのサポート内容

図5-1-1	指導者における身体的な問題の有無
図5-1-2	指導者における身体面のケアに関する支援度合
図5-2-1	指導者における心理的な問題の有無
図5-2-2	指導者における心理面のケアに関する支援度合

図2-8-1	女性アスリートにおける競技スポーツに対する社会的評価が低いと思うかどうか
図2-8-2	女性アスリートにおける競技スポーツに対する社会的評価の向上に関する支援度合
図2-9-1	女性アスリートにおける家庭生活・育児との両立への悩みの有無
図2-9-2	女性アスリートにおける家庭生活・育児との両立に関する支援度合
図2-10-1	女性アスリートが必要と考えるサポート内容（1位）
図2-10-2	女性アスリートが必要と考えるサポート内容（2位）
図2-10-3	女性アスリートが必要と考えるサポート内容（3位）
図2-10-4	女性アスリートが必要と考えるサポート内容（1～3位）
図2-11-1	女性アスリートにおけるサポート体制の利用度
図2-11-2	女性アスリートにおけるサポート体制の満足度

（3）女性アスリート・金銭面

図3-1-1	女性アスリート・年収
図3-2-1	女性アスリートにおける年間を通じた競技に関わる費用（用品・用具費）
図3-2-2	女性アスリートにおけるスポンサーなどによる補てんの有無 （用品・用具費）
図3-2-3	女性アスリートにおける補てん額（用品・用具費）
図3-2-4	女性アスリートにおける1年分の自己負担額（用品・用具費）
図3-3-1	女性アスリートにおける年間を通じた競技に関わる費用（合宿・遠征費）
図3-3-2	女性アスリートにおけるスポンサーなどによる補てんの有無 （合宿・遠征費）
図3-3-3	女性アスリートにおける補てん額（合宿・遠征費）
図3-3-4	女性アスリートにおける1年分の自己負担額（合宿・遠征費）
図3-4-1	女性アスリートにおける年間を通じた競技に関わる費用（医療費）
図3-4-2	女性アスリートにおけるスポンサーなどによる補てんの有無（医療費）
図3-4-3	女性アスリートにおける補てん額（医療費）
図3-4-4	女性アスリートにおける1年分の自己負担額（医療費）
図3-5-1	女性アスリートにおける年間を通じた競技に関わる費用 （栄養補助食品費）
図3-5-2	女性アスリートにおけるスポンサーなどによる補てんの有無 （栄養補助食品費）
図3-5-3	女性アスリートにおける補てん額（栄養補助食品費）
図3-5-4	女性アスリートにおける1年分の自己負担額（栄養補助食品費）
図3-6-1	女性アスリートにおける年間を通じた競技に関わる費用

図5-3-1	指導者における人的サポート資源に関する課題の有無
図5-3-2	指導者における人的サポート資源の充実にする支援度合
図5-4-1	指導者における情報提供に関する課題の有無
図5-4-2	指導者における的確な情報提供に関する支援度合
図5-5-1	指導者における指導環境の整備に関する課題の有無
図5-5-2	指導者における指導環境の整備に関する支援度合
図5-6-1	指導者における金銭面での問題の有無
図5-6-2	指導者における金銭的な支援度合
図5-7-1	指導者におけるキャリアプランへの不安の有無
図5-7-2	指導者におけるキャリアプランに関する支援度合
図5-8-1	指導者における競技スポーツに対する社会的評価が低いと思うかどうか
図5-8-2	指導者における競技スポーツに対する社会的評価の向上に関する支援度合
図5-9-1	指導者における家庭生活・育児との両立への悩みの有無
図5-9-2	指導者における家庭生活・育児との両立に関するサポートの利用可能性
図5-10-1	指導者が必要と考えるサポート内容（1位）
図5-10-2	指導者が必要と考えるサポート内容（2位）
図5-10-3	指導者が必要と考えるサポート内容（3位）
図5-10-4	指導者が必要と考えるサポート内容（1～3位）
図5-11-1	指導者におけるサポート体制の利用度
図5-11-2	指導者におけるサポート体制の満足度

（3）指導者・金銭面

図6-1-1	指導者・年収
図6-2-1	指導者における年間を通じた競技に関わる費用（用品・用具費）
図6-2-2	指導者におけるスポンサーなどによる補てんの有無（用品・用具費）
図6-2-3	指導者における補てん額（用品・用具費）
図6-2-4	指導者における1年分の自己負担額（用品・用具費）
図6-3-1	指導者における年間を通じた競技に関わる費用（合宿・遠征費）
図6-3-2	指導者におけるスポンサーなどによる補てんの有無（合宿・遠征費）
図6-3-3	指導者における補てん額（合宿・遠征費）
図6-3-4	指導者における1年分の自己負担額（合宿・遠征費）
図6-4-1	指導者における年間を通じた競技に関わる費用の合計
図6-4-2	指導者における補てん額の合計
図6-4-3	指導者における1年分の自己負担額の合計